

第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録

イベント名	宝の海の女性たち ～おおいたの水の美味しい食と輝く女性たち～
主催者	一村一品杵築女性会議
開催日	2007年12月 <input checked="" type="checkbox"/> 1日 <input checked="" type="checkbox"/> 2日 <input type="checkbox"/> 3日 <input type="checkbox"/> 4日 <input type="checkbox"/> 5日
開催時間	10:00～15:30
開催場所	<input type="checkbox"/> 別府市内 <input checked="" type="checkbox"/> 大分県内 <input type="checkbox"/> その他
会場名	杵築市住吉浜リゾートパーク「オレンジホール」
参加人数	のべ100名

開催概要（900字以内）

男性が主役の農林水産業で、女性の地位は低く、女性は半人前とみられていました。一村一品運動を通して地域の女性たちの発想で作った商品が売れ、女性起業家もたくさん出てきました。一村一品運動は男女共同参画の実践の場でもあります。

私たちの杵築市でも、漁師の家族が獲ったものを無駄にしないために、雑魚をすり身に加工する加工所を作り有効活用している女性たちや、安心・安全な牛肉や野菜やミカンなどの生産に主体的に関わるために簿記やパソコンを習得し、農業経営管理技術を学び大分県女性農業経営士に認定される女性たちもいます。環境教育の専門家としての資格をとり、水辺の環境を守るために子どもたちといっしょに川や海を守る女性たちがいます。そんな女性たちが集まって、一村一品杵築女性会議は1997年に発足しました。

今回「宝の海」守江湾会議（オープンイベント）の開催に合わせて、同会場で各種イベントでの活動展示を実施、また、そのレセプションの食材の調達、メニューの企画を南育代さんのコーディネーターのもと、実施することができました。会場には、20種類を超える献立が並び、あちらこちらで和やかな歓談が交わされていました。



第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録



第1回アジア・太平洋水サミット オープンイベント開催記録

日本水フォーラムに期待すること（600字以内）

今回、アジア太平洋水サミットのオープンイベントに参加し、また説明会や開会式などに参加する中で、日本が世界の中でいかに豊かで恵まれているか知ることになりました。その一方で世界の水事情の危機を知り、日本が輸入品という形（バーチャルウォーター）でたくさんの世界中の水を使っていることも知り、ショックを受けました。

水フォーラムで、この現実をもっと日本人たちに知らせてほしいし、世界の指導者にも、水の現実を認識してもらい、自国で政策と生かしてもらうように努力してほしいと願います。

何より、水が商品として市民から取り上げられることのないように、啓発活動を続けてほしいし、それぞれの知恵が生かせるように世界中の水ネットワークをつなげて欲しいと思います。

k

その他（オープンイベントを開催した感想、今後の予定など、600字以内）

今回、オープンイベントに参加して、ほんとうに良かったと感謝しています。

最初は何をしたいのか不安を抱えていましたが、自分たちの活動を皆さんに知っていただくことでいいと参加を決めましたが、杵築市、大分県の豊かな水、その恵み、一方では水と闘いながら、折り合い、生活してきた女性たちの姿を再認識することができました。

今後は今回のイベントで知り合った人々やグループと交流し、情報交換をできればと考えています。また大分県のレベルで、NPO グループのネットワーク化が始まるようで、新たな大分での水ネットワークの一員として活動できることを期待しています。

